

舞鶴市民病院だより

平成21年6月発行

VOL. 5



市民の皆様と命を守るため 自治体病院として地域医療に貢献

舞鶴市長 齋藤 彰

市民の皆様には、市政の各般にわたり、とりわけ、地域医療の推進と市民病院の運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに対し、紙上をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。

ご承知のとおり、市民病院につきましては、平成一五年度末の内科医師の集団離職以来、平成一八年三月末の外科系常勤医師の退職に続き、同年六月末には、病院長も退任し、そのときの入院患者数は、一日平均二人、

加佐診療所を除く外来患者数も一日平均十六人となり、ほぼ閉院に近い状態でありました。この異常事態に対し、舞鶴医師会による名誉病院長の派遣や防衛医官による業務応援をいただき、さらには、医療法人の医師支援を受けるなどしながら病院運営を行ってまいりました。

平成二十年十二月には、京都府や京都府立医科大学のご支援により、二年半ぶりに藤本病院長を迎えることができ、平成二一年三月時点での入院患者数は一日平均四七人、外来患者数は一日平均一〇九人までに回復することができました。

本市には、市民病院のほか、幾つかの公的病院がありますが、今日、いづれの病院においても医師の確保が大変難しい中で、診療科によっては休診を余儀なくされ、安定的な医療の提供が困難

になるなどの状況もあります。

このため、本市においては、将来にわたって持続可能な新しい医療提供体制の構築をめざし、現在、公的病院の再編に向けて、医師会や病院、行政の関係者で構成する「公的病院再編推進委員会」において、種々協議、検討をいただいているところであります。

こうした中で、私は、市民病院の設置者として市民病院につきましては、引き続き積極的に経営改革を行いながら、自治体病院として市民の皆様と健康と命を守るため、地域で求められる医療を中心に公的病院の再編に至るまでの間、その使命と役割を果たしてまいりたいと考えております。市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

市民病院の平成21年度の運営方針

市立舞鶴市民病院長 藤本 庄太郎



本年1月28日に「舞鶴市公的病院再編推進委員会」が発足し、4月4日には、この委員会において協議の結果、東舞鶴地区の急性期病院1つと西舞鶴地区のサテライト病院1つを基本として、他に回復期・療養型病院を配置する再編グランドデザイン案が確認されました。この案をもとに、舞鶴地区の医療再編へ向けた協力要請が医療センター、共済病院、赤十字病院の各設置者に対して市の責任者において現在進められています。

この再編案を受けて、当院の平成21年度の運営方針は、「回復期から慢性期に軸足を置くこと」をより明確にしました。今年度後半の入院患者数は、療養病床は42床まで、一般病床は、リハビリを中心とした回復期と亜急性期診療で40床まで増やすことを目標として、他の3病院との相互補完、病病連携を一層進めてまいりたいと考えています。事務部門、医療技術部門の人員削減を中心に市からの経営支援を大幅に削減した中での運営でありますので、相当な困難が予想されますが、一般健診や人間ドック等の予防医学事業の拡大や加佐地区のへき地医療支援も含めて、自治体病院の責務を果たすべく職員一同一致団結して邁進したいと思います。市民の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成21年度は次の方針に沿って病院を運営します。

平成21年度病院事業運営方針

◇ 基本方針

1. 公的病院の再編を前提とし、それまでの間市民病院の特性を生かし、地域に求められる医療を中心に、回復期・慢性期に軸足を置き「市民に役立つ病院」として地域医療に貢献し、自治体病院としての役割を果たせるよう努めます。
2. 病院の規模・機能を含め、実のある・メリハリのある病院運営を行い、収益向上と経費節減を図るため踏み込んだ経営改革を実施し、一般会計からの経営支援を大幅に減額できるように努力します。

◇ 運営方針

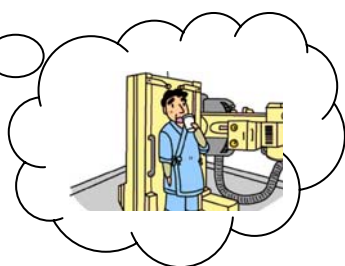
1. 中心となる医療
 - 公的病院の再編を見据えて、医師会や他の公的病院、開業医などとの医療連携を重視し、協調・協働の医療をめざします。
 - 療養病床の維持・拡充、リハビリなど回復期医療への貢献、内科・整形外科を中心とした外来診療、へき地医療（加佐診療所）の充実、健診事業（人間ドック、脳ドック、肺ガン検診、特定健診、企業健診等）の拡充に努めます。
2. 経営改革
 - 病院の規模、機能を実のあるフレームとなるよう縮小等を図ります。
 - 病棟運営を主力として回復期・慢性期に軸足を置きながら収益の向上を図ります。
 - 非常勤医師による専門外来は縮小します。
 - 事務部門を含め、各業務における職員の配置などで効率化を図り人件費の抑制に努めます。

新型インフルエンザ

うつすまい（舞）うつされまい（舞）のころがけ

感染防止にはうがい 手洗い 咳エチケットが有効です。
発熱、咳、鼻水の出る方、のどに痛みのある方はマスクを着けてください。

舞鶴市民病院では、「発熱外来」を5月20日に設置しました。
発熱・咳・のどの痛みなどの体調不良の方は、まず、京都府中丹東保健所内の
発熱相談センター TEL 0773-75-0806へご相談ください。



TEL 六二一七六三〇

昨年7月に再開した脳ドックに続き、本年4月からは人間ドックを再開しました。肺ガン検診のほかにも、肺ドック、肺ガン検診を受けたい方が増えています。詳しい内容につきましては、健康管理科にお問い合せください。各種検診につきましても、お問い合わせください。

人間ドックを再開しました



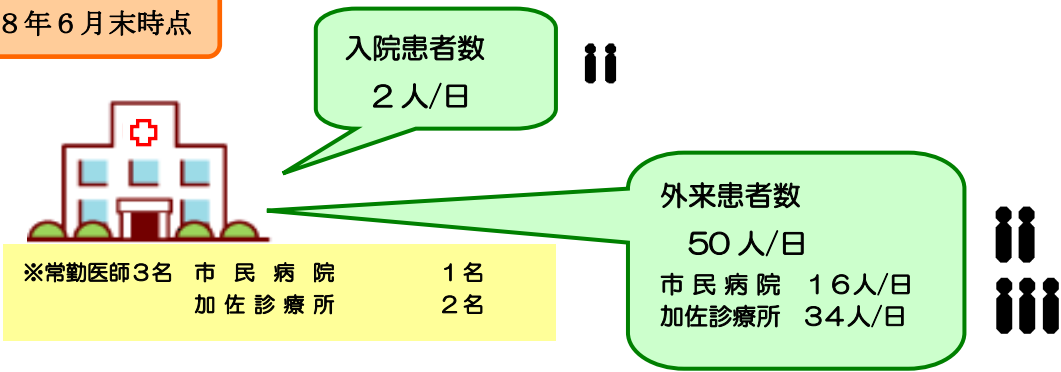
※完全予約制

その他オプション検査もあります。

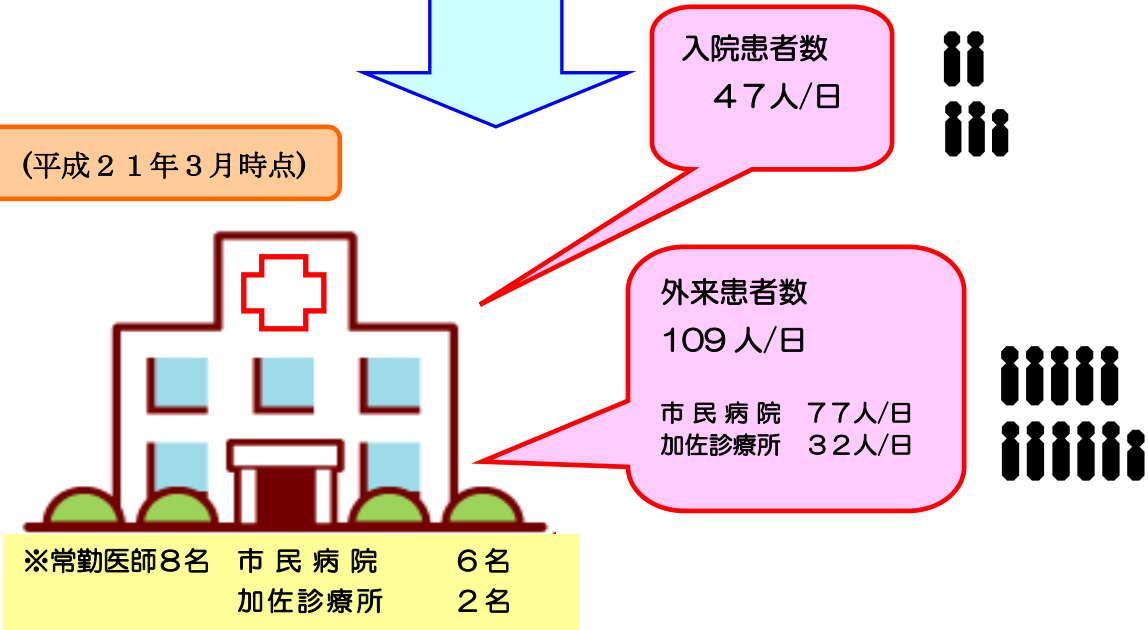
人間ドック	
内 容	全身の健康状態を検査する総合的な健康診断です。 (現在、子宮がん・乳がん検診は実施していません)
料金(税込)	39,900円
実施日時	月～金曜日(祝祭日を除く)
開始時間	午前 8時15分～
所要時間	半日
実施人数(1日)	2人
結果の報告	約2週間後に担当医が説明します。希望により郵送可。

舞鶴市民病院は、このように変わり、市民に役立つ病院として頑張っています。

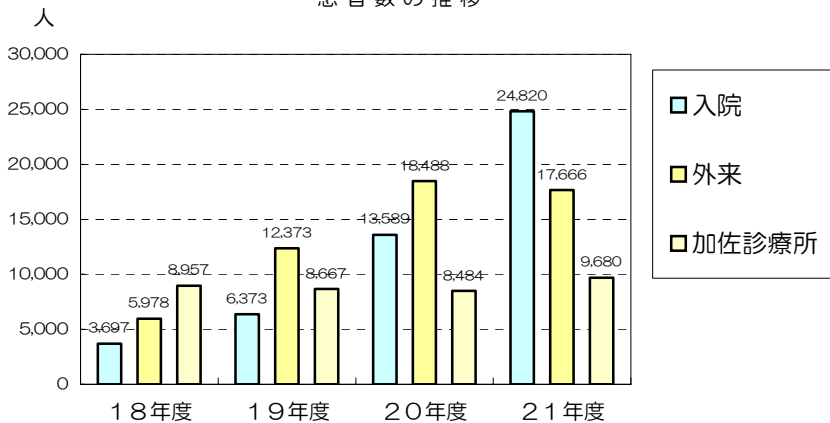
平成18年6月末時点



今日の状況 (平成21年3月時点)

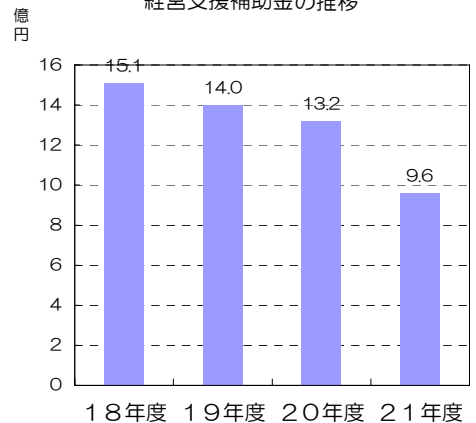


患者数の推移



※平成21年度は見込み患者数

経営支援補助金の推移



※平成18・19年度は決算額 平成20・21年度は予算額

平成15年度末の内科医師の集団離職以降、入院患者・外来患者数とも大幅に減少しましたが、今日では、患者数推移のグラフのとおり、徐々に患者数が増えてきております。

しかしながら、市からの多額の補助金で運営している現状（経営支援補助金の推移を参照）でありますので、今後とも収益の向上と経費節減を図りながら、市補助金の縮減に努めてまいります。

《外来診療のご案内》

平成21年6月1日現在

舞鶴市民病院

内科休日診療案内【毎日曜日】9時～19時

受付時間 8時30分～18時30分

外来の診療時間（受付開始時間 再来 7:30～ 初診 8:30～）

曜日		月	火	水	木	金	受付終了時間 (11:00 診察開始時)
内科	一般内科	(副院長) 保田	(副院長) 保田	(副院長) 保田	山下	(副院長) 保田	11:30
	一般内科 (内分泌)					11:00～ 犬塚	13:00
	神経内科	坂田	坂田	坂田		坂田	11:30
	消化器内科	(内科診療部長) 野中	(病院長) 藤本	神田※1	(内科診療部長) 野中	(内科診療部長) 野中	11:30 (13:00)
	呼吸器内科	山下	山下	山下	小熊		11:30
	循環器内科		中島※2 山根※2		小島(洋)		11:30
整形外科			小島(央)		門川	鈴木	11:30
脳神経外科		池田	池田	池田			11:30

※1…第1・3・5水曜日は11:00～ 第2・4水曜日は9:00～

※2…第1・3火曜日は山根 医師 第2・4・5火曜日は中島 医師

加佐診療所

	月	火	水	木	金
内科	時田	時田	時田	時田	時田
歯科	山本	山本	山本	山本	山本
専門外来			○消化器内科 第1・第3水曜 藤本病院長 ○消化器内科 第2・第4水曜 野中内科診療部長	○神経内科 第1・第3木曜 坂田 ○一般内科 第2・第4木曜 保田副院長	○呼吸器内科 第1・第3金曜 山下

※ 都合により担当医や診察時間が変更になる場合があります。
詳細については、下記までお尋ねください。

市立舞鶴市民病院 TEL 62-2630 (代)

加佐診療所 TEL 82-0031 (代)

従来、この広報紙は院内にてお配りしておりましたが、市民病院の現状を市民の皆様にご理解いただくために、今号〔vol.5〕については、各家庭に配布させていただきました。

市民病院の運営等につきまして、ご意見やご要望がありましたら、どんな些細なことでもよろしいですので、お寄せください。
お待ちしております。 [編]